

シラバス

富山県立
魚津工業高等学校

共通科目

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
1 学年全科		国 語 ・ 現代の国語	2	数研出版 ・ 新編現代の国語
学習 目 標	・ 作品 ・ 文章を通して、論理的な思考力と判断力、表現力を身に付ける。 ・ 自分の意見を正確にわかりやすく伝える力、相手の状況を考慮して発信する力を身に付ける。 ・ 読書する習慣を身に付け、豊かな人生の糧とする。			
学期	学習項目(単元名)	学 習 内 容 (ね ら い)		考查 範 囲
1	・ 対比を読み取る 「水の東西」「時間とは何か」 ・ コラム「指示語」「対比」に注意	・ 身近な「水」を通して日本と西洋の文化や感性のあり方を比較し、日本文化だけでなく多様な文化の有りように興味を持ち、思考を深める【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 接続詞や具体例の役割を意識して読み取ることから、「時間」という概念に対して理解を深める。【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・ 二つの対比された段落構成と論理展開の関係を理解し、論理的な表現について考えを深める。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】		中 間 考 査
	・ 書き手の意図をつかむ「ものづくり」 ・ 話し言葉の技術「適切に話す・聞くスピーチ」「発表の方法プレゼンテーション」	・ 「ものづくり」という生徒に身近な題材を通して、多様な視点から物事を捉える力を養う。【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 指示語の指示内容を読み取る方法を理解する。【知識・技能】【主体的】 ・ 聞き手にわかりやすく話す方法、明確に伝えるための技術、多様な情報を資格情報と関連付けて編集する技術を理解する。【知識・技能】【主体的】		
2	・ 言葉の働きをとらえる 「語感トレーニング」「コインは円形か」 ・ コラム「接続詞」 ・ 日常の中の文章「表現の工夫を読み取る(新聞)」	・ 現代日本語に類義語が多い歴史的経緯を知ることで、時代とともに変化する言葉の語感に興味を持ち、言葉について考察を深める。【知識・技能】【主体的】 ・ レトリックの効用について理解を深め、人間の認識方法について思考を深める。【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 接続詞の働きを理解する。【知識・技能】【主体的】 ・ 新聞を読み比べて、同じ記事でも異なる表現を用いていることを理解し、メディアリテラシーを身につける。【思考・判断・表現】【知識・技能】【主体的】		中 間 考 査
	・ 書き手の考えを比較する 「科学と非科学」「科学とはどういう意味か」 ・ 「文章トレーニング2要約する」「文章トレーニング3比較する」	・ 「科学」「非科学」という二項対立を超えて、「科学」とは何かについて思考を深める。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 「科学的な姿勢」について理解する、【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 情報を的確にわかりやすく説明する方法を理解する。【知識・技能】 ・ 相手の伝えたいことを理解し、まとめる方法を身につける。【思考・判断・表現】【主体的】		
3	・ 根拠を読み取る「「わらしべ長者」の経済学」 ・ コミュニケーションと言葉「世間話はなぜするか」 ・ 「文章トレーニング4意見文を書く」	・ 経済学の基本原理を理解し、経済学的な考え方について理解を深める。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 人間関係における言葉の大切さ理解する。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 具体例や自分の経験を出すことで、説得力ある文章を書けるようになる。【思考・判断・表現】【主体的】		学 年 末 考 査
適時	『現代の語彙力向上の壺』（尚文出版）	・ 年間を通して語彙力向上に特化した問題集を用い、語彙力や表現力を養う。【知識・理解】【主体的】		
評価	考查成績を中心として、小テスト・提出物の状況を加味し、また授業態度なども含め総合的に判断する。			

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
1 学年全科		国 語 ・ 言語文化	2	数研出版 新編言語文化
学習目標	・ 作品・文章を通して考え方を深める。 ・ 古文・漢文の基礎を学び、現代にも受け継がれている普遍的な価値や課題を学ぶ。 ・ 読書する習慣を身につけ、豊かな人生の糧とする。			
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容 (ね ら い)		考查範囲
1	・ 古文に親しもう 「いろは歌」「竹取物語」 ・ 古文の世界に親しむ 「児のそら寝」 ・ 受け継がれる古典 「羅生門」「方丈記」 ・ 現代にも生きる教え 「徒然草」	・ 歴史的仮名遣いについて、理解する。【知識・技能】【主体的】 ・ 親しみのもてる内容の話に接することによって、古文への興味をもつことができる。【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 興味深い説話に接し、古典の世界に生きる人々の心情や生活について理解する。【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 登場人物の心理・行動を的確に読み取ることができる。 【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 時代小説という形の中に普遍的な人間心理が描かれていることを理解する。【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 作者のものの見方や人間観察の鋭さに触れるとともに、時代を超える人間の感性や作品のおもしろさについて理解する。【知識・技能】 【思考・判断・表現】【主体的】		中間 考 査
				期 末 考 査
2	・ 日本語の中に生きる漢文 「訓読のきまり」「格言」 ・ 故事と成語 「助長」 「漁夫の利」 「虎の威を借る狐」 ・ 記録する文学 「沖縄の手記から」 ・ 詩歌を味わう 「サーカス」「短歌」	・ 訓点に従って、訓読できるようになる。【知識・技能】【主体的】 ・ 句法を確認し、訓読について理解する。【知識・技能】【主体的】 ・ 寓話を読んで漢文に親しみ、古代中国人の発想の面白さに触れる。【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 近現代に書かれた戦争文学について理解を深め、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 【思考・判断・表現】【主体的】 ・ 言葉がもつ価値への認識を深め、語感を磨き、語彙を豊かにする。 【知識・技能】【主体的】 ・ 詩に描かれた情景とそこに込められた思いを理解する。 【思考・判断・表現】【主体的】		中間 考 査
				期 末 考 査
適時	・ 和歌が作り出す世界 「万葉・古今・新古今」 ・ 昔と変わらない人の心 「筒井筒」『伊勢物語』 ・ 基礎漢字	・ 調べや修辞技巧に留意しながら、和歌の鑑賞の仕方を理解する。 【知識・技能】【主体的】 ・ 現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深めることができる。【思考・判断・表現】 ・ 初期歌物語に親しみ、心情描写の特色を捉えながら、古人のものの見方、感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する。【主体的】 ・ 年間を通して問題集・小テストなどで漢字の力をつける。 【知識・技能】【主体的】		学 年 末 考 査
評価	考查成績を中心として、小テスト・提出物の状況を加味し、また授業態度なども含め総合的に判断する。			

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科	公民・公共	2	実教出版・公共 浜島書店・2025 ニュービジョン公共
学習目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸問題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。		
学期	学習項目（単元名）	学習内容	考查範囲・課題
1	第1編 公共の扉 第2編1 現代の民主政治と日本国憲法	公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自立、人間と社会の多様性と共通性などに着目して、社会に参画する自立した主体とは何かを問い、現代社会に生きる人間としての在り方、生き方を探求する。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	1 学期中間考查 1 学期末考查 夏季休業中課題
2	第2編2 経済社会と国民生活 第2編3 国際社会と人類の課題	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸問題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究し、解決する。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	2 学期中間考查 2 学期末考查 冬季休業中課題
3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりを向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して現代の諸課題を探求する。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	学年末考查 春季休業中課題
評価	1. 学習に取り組む姿勢（授業態度・発問への対応・授業ノート等） 2. 各学期中及び、夏季・冬季・春季休業中の課題への取り組み 3. 評価に関わる3つの観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）の習得状況を把握できる考查問題を作成する。1～3を総合的に評価する。		

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス		教科・科目	単位数	教科書・教材名
2 学年全科		地理歴史・歴史総合	2	実教出版・歴史総合 帝国書院・シンフォニア四訂版
学習 目標	近現代史を中心とするグローバル化する国際社会の歴史の展開を、日本史的世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い、公民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。			
学期	学習項目（単元名）	学 習 内 容		考查範囲
1	第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動 第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成	江戸幕府の崩壊、明治政府の成立、立憲政治の確立という明治維新の結び付く世界の大きな流れを理解する。【主体的に学習に取り組む態度】 【思考・判断・表現】 どのような世界情勢のもとに、日本が開国に至ったのか、日本と世界という視野で、近代を理解する。【知識・技能】【思考・判断・表現】		中間考查 1 学期末 考查 夏季休業 中課題
2	第4章 帝国主義の時代 第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 第6章 経済危機と第二次世界大戦	二度の世界大戦がなぜ起こり、どのような結果・影響をもたらしたのかを理解する。 【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】【知識・技能】		中間考查 2 学期末 考查 冬季休業 中課題
3	第7章 冷戦と脱植民地化 第8章 多極化する世界 第9章 グローバル化と現代世界	日本の国内政治の動向や、国際社会における日本の行動は、世界史の流れと密接な関係があることを理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 終戦後、連合国の占領を受けた日本がどのように復興を果たしていくのか、世界情勢との関わりから理解する。【知識・理解】 経済大国となった日本の課題と、国際社会に果たすべき役割について理解することができ、さらに、そのなかで、個人として果たすべき役割についても考える。【知識・技能】【思考・判断・表現】		学年末 考查 春季休業 中課題
評価	1. 学習に取り組む姿勢（授業態度・発問への対応・授業ノート等） 2. 各学期中及び、夏季・冬季・春季休業中の課題への取組 3. 評価に関わる3つの観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）の習得状況を把握できる考查問題を作成する。1～3を総合的に評価する。			

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
3 学年全科	地理歴史・地理総合	2	実教出版 地理総合 帝国書院・新詳高等地図 帝国書院・図説地理資料 世界の諸地域NOW2025
学習目標	・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。		
学期	学習項目（単元名）	学習内容（ねらい）	考查範囲・課題
1	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする。 【知識・技能】【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の諸地域の自然環境を形成する地形や気候を、生活・文化と関連付けて考察することができる。 【知識・技能】【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	1 学期中間考查 1 学期末考查 夏季休業中課題
2	第2章 地球的課題と国際協力 第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然災害と防災	人間と自然環境との相互依存関係や地域などに注目して、課題を追究したり解決したりする。 【知識・技能】【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	2 学期中間考查 2 学期末考查 冬季休業中課題
3	第2章 地域調査	空間的相互依存作用や地域などに着目して、生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探求する手法などについて理解する。 【知識・技能】【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	学年末考查
評価	1. 学習に取り組む姿勢（授業態度・発問への対応・授業ノート等） 2. 各学期中及び、夏季・冬季休業中の課題への取組 3. 評価に関わる3つの観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）の習得状況を把握できる考查問題を作成する。1～3を総合的に評価する。		

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
1 学年全科		数学・数 学 I	3	数研出版・最新 数学 I
学習目標	中学校までに学んできた数学を復習しながら、数と式、2 次関数、図形と計量及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。			
学期	学習項目(単元名)	学習内容・観点別評価規準 〔知〕：知識・技能 〔思〕：思考力・判断力・表現力 〔主〕：主体的に学習に取り組む態度		考查範囲
1 学期	第 1 章 数と式 第 1 節 数と式	・同類項をまとめて、整式を整理することができる。〔知〕 ・指数法則を理解し、計算に用いることができる。〔知〕 ・分配の法則や展開の公式を用いて、式を展開することができる。〔知〕〔思〕 ・共通因数のくくり出しや因数分解の公式を用いて、式を因数分解できる。〔知〕 ・式の特徴に着目して複雑な式の因数分解に取り組もうとする。〔主〕 ・有理数と無理数の違い、および実数について理解している。〔知〕 ・平方根を含む式の計算や分母の有理化の方法について理解している。〔知〕〔思〕 ・不等式の解法を理解し 1 次不等式や連立不等式を解くことができる。〔知〕 ・身近な問題を、1 次不等式を用いて解決しようとする。〔思〕〔主〕		中間 考 査
	第 2 節 1 次不等式			
	第 2 章 集合と命題	・集合をそれぞれの場合に適した形で表すことができる。〔思〕 ・部分集合、空集合、2 つの集合の包含関係を理解している。〔知〕 ・共通部分、和集合、補集合を求めることができる。〔知〕 ・ド・モルガンの法則に関心をもち、考察しようとする。〔主〕 ・命題の真偽を、集合や反例などを用いて判定することができる。〔知〕 ・必要条件、十分条件、否定の意味を理解している。〔知〕 ・対偶や背理法を用いれば難しい命題も証明できることに興味・関心をもつ。〔思〕〔主〕		期 末 考 査
2 学期	第 3 章 2 次関数 第 1 節 2 次関数とグラフ	・ $y=f(x)$ や $f(x)$ の表記を理解しており、関数の値 $f(a)$ を求めることができる。また座標平面について理解している。〔知〕〔思〕 ・放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。〔主〕 ・2 次関数のグラフの特徴や、頂点、軸について理解し、考察しようとしている。〔知〕〔思〕 ・平方完成により式を変形し、そのグラフをかくことができる。〔知〕 ・2 次関数が最大値や最小値をもつことを、グラフを使い理解しようとする。〔思〕 ・定義域が限られた場合で、2 次関数の最大値、最小値を求めることができる。〔思〕 ・2 次関数のグラフと x 軸との共有点の x 座標を求めることができる。また、グラフと x 軸の位置関係の条件を $D=b^2-4ac$ の符号から考察できる。〔思〕 ・2 次関数のグラフを利用して、2 次不等式を解く方法を理解し、2 次不等式を解くことができる。〔知〕〔思〕		
	第 2 節 2 次方程式と 2 次不等式			
	3 学期	第 4 章 図形と計量 第 1 節 三角比	・直角三角形において $\tan A$ 、 $\sin A$ 、 $\cos A$ の値を求めることができる。〔知〕 ・三角比を使って、直接測ることのできない距離などの求め方を考え、距離や高さを求めることができる。〔知〕〔主〕 ・三角比の相互関係を用いて、三角比の 1 つの値から残り 2 つの三角比の値を求めることができる。〔思〕 ・座標を用いた鈍角の三角比の定義を理解している。〔思〕 ・鈍角の三角比の値を求めることができる。〔思〕 ・正弦定理を用いて三角形の外接円の半径や辺の長さを求めることができる。余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。〔知〕 ・2 辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積や、3 辺の長さが与えられた三角形の面積を求めることができる。〔知〕	
第 2 節 正弦定理・余弦定理				
第 5 章 データの分析		・日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとしている。〔思〕〔主〕 ・身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。〔主〕 ・平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、求めることができる。〔知〕 ・範囲の定義やその意味を理解し、それを求め、データの散らばりを比較することができる。〔知〕〔思〕 ・分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、それらに関する公式を用いて、分散、標準偏差を求めることができる。〔知〕〔思〕 ・四分位範囲の定義やその意味を理解し、それを求め、データの散らばりを比較することができる。〔知〕〔思〕 ・箱ひげ図をかき、データの分布を比較することができる。〔知〕〔思〕 ・相関係数の定義とその意味を理解し、それを求めることができる。〔知〕		学 年 末 考 査
評価	・授業態度や発問評価、課題・副教材等の提出物への取り組み状況、小テスト・定期考査・課題テスト等の結果、課題学習に対する取り組み、自己評価等をもとに、総合的に評価する。			

対象クラス		教科・科目	単位数	教科書名
1 学年全科		理科・科学と人間生活	2	科学と人間生活（数研出版）
学習目標	1. 観察、実験などを通して、身近な事物・現象についての知識を身に付けるとともに、科学技術と人間生活との関わりを理解する。 2. 人間と自然の関係について考察し、自然に対する総合的な見方や考え方を育成する。			
学期	単元名	学習内容		考查範囲
1 学期	序論 科学技術の発展	・ 灯り、通信、交通、コンピュータ、農業、食品、医療、防災、エネルギーの歴史について時系列的に学び、科学技術が時代とともに進歩し、人間生活を豊かで便利にしてきたことや人間生活に不可欠であることを理解する。 【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】		中間 考 査
	1 編 物質の科学	「1 章 材料とその再利用」を学習する。 ・ 金属に特徴的な性質を理解し、その性質を利用した身近な例を学ぶ。 ・ プラスチックの種類とその性質、用途について整理して学び、身近なプラスチック製品の知識を身に付ける。 ・ 資源の有限性と再利用の重要性を理解する。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		
2 学期	2 編 生命の科学	「1 章 ヒトの生命現象」を学習する。 ・ DNA とタンパク質の構造を学び、DNA の塩基配列の情報からタンパク質のアミノ酸配列が決定されることを理解する。 ・ 免疫やホルモンなど、ヒトの体内での反応と健康の関係を学ぶ。 ・ ヒトの目の構造と光刺激に対する応答を理解する。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		期 末 考 査
	3 編 光や熱の科学	「1 章 光の性質とその利用」を学習する。 ・ 光の性質とヒトの色覚について学び、光についての興味を深める。 ・ 波としての光がもたらす現象を理解する。 ・ 光は電磁波であることを知る。また、電磁波が波長により種類が異なることを認識し、日常生活の中でどのように利用されているかを知る。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		中 間 考 査
3 学期	4 編 宇宙や地球の科学	「2 章 自然景観と自然災害」を学習する。 ・ 地球や太陽が身の回りの景観をつくったことを理解する。 ・ 自然災害の原因や実例を学び、自然災害から身を守るための対策、心構えを身に付ける。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		期 末 考 査
評価	学習意欲や学習態度、学習に取り組む姿勢などを評価する。 定期考査の成績、課題等提出物の内容、授業態度などで学習内容の理解度、定着度を評価する。			

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス		教 科・科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名	
2 学年機械科・電気科・ 情報環境科電子機械コース		理科・物理基礎	2	第一学習社・高等学校 新物理基礎	
学 習 目 標	1 身の周りに見られる様々な物理的な事物・現象を知る。 2 その事物・現象を探究するための方法としての観察・実験の方法・態度を身に付ける。 3 これらを通して、事物・現象の背後にある物理の原理・基本法則を学び、論理的な考え方を養い、自然の美しさ・物理のおもしろさ・楽しさを知り、科学的な自然観を学ぶ。				
学期	単元名	学習内容			考查 範囲
1 学期	第Ⅰ章 力と運動 第1節 物体の運動	・運動の法則、力の種類、力の記述方法について理解し、問題を通して、物体の運動を定量的に扱うことに慣れる。 【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解し、計算する。【知識・技能】 ・実験を通して、物体が落下する際の運動の理解を深め、等加速度運動の計算をする。 【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】			中間 考查
					期末 考查
2 学期	第2節 力と運動の法則 第3節 仕事と力学的エネルギー	・力の記述方法を理解し、弾性力、摩擦力を図に表すことで物体に働く複数の力を考える。 【知識・技能】【思考・判断・表現】 ・力の合成・分解など、運動の概念を図やグラフで表す。 【思考・判断・表現】 ・運動方程式について理解し自らの力で運動方程式を立てる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】			中間 考查
					期末 考查
3 学期	第Ⅱ章 熱 第1節 熱とエネルギー 第Ⅲ章 波動 第Ⅳ章 電気	・熱移動及び熱と仕事の関係を考え、内部エネルギーや熱効率の計算をする。【思考・判断・表現】【知識・技能】 ・波の振る舞いについて、物体の運動との違う性質を観察し理解する。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ・静電気について、電荷と電子の運動の観点から考える。 【知識・技能】【思考・判断・表現】			学 年 末 考 査
評価	学習意欲や学習態度、学習に取り組む姿勢などを評価する。 定期考查の成績、課題等提出物の内容、授業態度などで学習内容の理解度、定着度を評価する。				

対象クラス		教科・科目	単位数	教 科 書 名	
2 学年情報環境科 化学工業コース		理科・化学基礎	2	新編 化学基礎（数研出版）	
学習 目標	化学的な事物・現象に対する関心・探求心・理解力を育成するとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、化学的なものの見方を育成する。				
学期	単元名	学習内容			考查
1 学期	序編 化学の特徴	課題の発見・探求・解決の過程を通して、効果的な化学の活用方法や実験の基本操作を学ぶ。 【知識・技能】			中間 考 査
	第 1 編 物質の構成と化学結合 第 1 章 物質の構成	混合物と純物質 分離・精製法（蒸留・分留、再結晶等） 元素 単体と化合物 同素体 元素の検出 物質の三態 粒子の熱運動 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】			
	第 2 章 物質の構成粒子	原子 原子の構造 同位体 電子配置 イオン イオンの生成 元素の周期律 元素の周期表と元素の分類 同族元素 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】			
2 学期	第 3 章 粒子の結合	イオン結合 イオンからなる物質 分子 共有結合 配位結合 電気陰性度と極性 分子間に働く力と分子からなる物質 高分子化合物 共有結合の結晶 金属結合 金属の性質 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】			期 末 考 査
	2 編 物質の変化 第 1 章 物質と化学反応式	原子量・分子量・式量 物質の質量 溶液の濃度 化学反応式と物質の質量 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】			
	第 2 章 酸と塩基の反応	酸・塩基 水の電離と水溶液の pH 中和反応と塩 中和滴定 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】			
3 学期	第 3 章 酸化還元反応	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用ー電池・金属の精錬ー 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】			学 年 末 考 査
	終章 化学が拓く世界	化学基礎で学んだ物質の特徴や化学変化が身近なところで活かされていることに気づき、暮らしと化学の結びつきについて理解を深める。【主体的に学習に取り組む態度】			
評価	学習意欲や学習態度、学習に取り組む姿勢などを評価する。 定期考査の成績、課題等提出物の内容、授業態度などで学習内容の理解度、定着度を評価する。				

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

学年クラス	教科、科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科	保健体育・体育	2	大修館書店・現代高等保健体育
学習目標	○運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ○生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ○運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。		
学期	学 習 項 目 (単元名)	学 習 内 容 (ねらい)	
1	○体づくり運動 ○陸上競技（短距離走・長距離走） ○球技（サッカー） ○体育理論	○自分の体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解することができる。 ○健康の保持増進や体力の向上を目指すことができる。 ○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。	
2	○球技（ソフトボール・テニス） ○球技（バスケットボール・バレーボール） ○体育理論	○自分の体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解することができる。 ○健康の保持増進や体力の向上を目指すことができる。 ○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○自己の能力に応じて、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。 ○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。	
3	○選択球技（バドミントン・卓球・球技） ○体育理論	○自分の体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解することができる。 ○健康の保持増進や体力の向上を目指すことができる。 ○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができる。 ○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。	
評価方法	実技テスト及び自己評価ノートから次の観点で総合的に評価する。 【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保している。		
留意事項	1 学期に新体力テストを実施する。		

学年クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
2 学年全科	保健体育・体育	2	大修館書店・現代高等保健体育
学習目標	○運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ○生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ○運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。		
学期	学 習 項 目 (単元名)	学 習 内 容 (ねらい)	
1	○体づくり運動 ○陸上競技 (短距離走・長距離走) ○選択球技 (サッカー・テニス) ○体育理論	○自己の体に気付き、体力を高めたり、体ほぐしの運動を実践したりできる。 ○自分の能力に応じた目標記録を定め、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができる。 ○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○自己のねらいに応じて運動技能を高めたり、実生活に生かす運動の計画を立てたりする方法を学ぶ。	
2	○球技選択 (ソフトボール・サッカー・テニス) ○球技選択 (バスケットボール・バレーボール) ○体育理論	○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的に練習を工夫することができる。 ○自己の能力に応じて、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。 ○自己のねらいに応じて運動技能を高めたり、実生活に生かす運動の計画を立てたりする方法を学ぶ。	
3	○選択球技 (バドミントン・卓球・球技) ○体育理論	○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的に練習を工夫することができる。 ○自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができる。 ○自己のねらいに応じて運動技能を高めたり、実生活に生かす運動の計画を立てたりする方法を学ぶ。	
評価方法	実技テスト及び自己評価ノートから次の観点で総合的に評価する。 【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保している。		
留意事項	1 学期に新体力テストを実施する。		

学年クラス	教科・科目	単位数	教科書名
3 学年全科	保健体育・体 育	3	大修館書店・現代高等保健体育
学習 目標	○運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 ○生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ○運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。		
学期	学 習 項 目 (単元名)	学 習 内 容 (ねらい)	
1	○体づくり運動 ○陸上競技 (短距離走・長距離走) ○選択球技 (サッカー・テニス) ○体育理論	○自己の体に気付き、体力を高めたり、体ほぐしの運動を実践したりできる。 ○自分の能力に応じた目標記録を定め、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができる。 ○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。	
2	○球技選択 (ソフトボール・サッカー・テニス) ○球技選択 (バスケットボール・バレーボール) ○体育理論	○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的に練習を工夫することができる。 ○自己の能力に応じて、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。 ○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。	
3	○選択球技 (バドミントン・卓球・球技) ○体育理論	○チームの課題や自己の役割を理解して、作戦を生かした攻防を展開したゲームができる。 ○チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的に練習を工夫することができる。 ○自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができる。 ○自己の能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方を理解する。	
評価 方法	実技テスト及び自己評価ノートから次の観点で総合的に評価する。 【知識・技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保している。		
留意 事項	1 学期に新体力テストを実施する。		

学年クラス	教科、科目	単位数	教科書・教材名
1 学年全科	保健体育・保健	1	大修館書店・現代高等保健体育
学習目標	○個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 ○健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 ○生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	査考範囲
1	I 現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康 9 喫煙と健康	○健康水準の向上、疾病構造の変化は、個人や集団の健康についての考え方やその対策に変化をもたらしていることを理解する。 ○生活の質や生きがいを重視する新しい健康の考え方を、ヘルスプロモーションなどを例にして理解できるようにする。	一学期末考査
2	10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	○精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。 ○感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解できるようにする。 ○健康を保持増進するためには、適切な意志決定、行動選択が必要であり、それらには、個人の知識、価値観、心理状態や人間関係、社会環境が関連していることを理解する。	二学期末考査
3	II 安全な社会生活 20 事故の現状と発生要因 21 安全な社会の形成 22 交通における安全 23 応急手当の意義とその基本 24 日常的な応急手当 25 心肺蘇生法	○わが国における道路交通事故の状況を知り、具体的な事例を適宜取り上げ、事故には、車両の特性、当事者の行動や規範を守る意識、周囲の環境が関連していることを理解できるようにする。 ○交通事故を防止するためには、自他の生命を尊重する態度が重要であることを理解する。 ○日常生活で起こる傷害や熱中症などの疾病の際には、それに応じた基本的な応急手当の手順や方法があることを理解し、適切な手当てが実践できるようにする。	学年末考査
評価方法	定期考査の成績、課題等提出物の内容、授業の態度から次の観点で評価する。 【知識・技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。		
留意事項	保健部、養護教諭と連携を図り、効果的な指導が展開できるようにする。		

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

学年クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
2 学年全科	保健体育・保健	1	大修館書店・現代高等保健体育
学習目標	○個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 ○健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 ○生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
学期	学習項目（単元名）	学習内容（ねらい）	考查範囲
1	Ⅲ 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康	○生涯にわたって健康を保持増進するためには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理を行うことが必要であることを理解する。	一学期末考查
2	9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 Ⅳ 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動	○人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあるので様々な対策がとられていることを理解する。 ○学校や地域の環境を健康に適したものとするような基準が設定され、環境衛生活動が行われていることと食品の安全性を確保するための基準が設定され、食品衛生活動が行われていることを理解する。	二学期末考查
3	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	○生涯を通じて健康を保持増進するには、我が国の保健・医療制度や機関について知り、地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることを理解する ○自他の健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解する。	学年末考查
評価方法	定期考查の成績、課題等提出物の内容、授業の態度から次の観点で評価する。 【知識・技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。		
留意事項	保健部、養護教諭と連携を図り、効果的な指導が展開できるようにする。		

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
1 学年全科選択		芸術・音楽Ⅰ	2	教育芸術社・MOUSAⅠ
学習目標	・歌や器楽の演奏を通して、表現する喜びを味わう。 ・読譜力や聞き取りなど、音楽の基本的な知識・能力を身に付ける。 ・音楽に対する理解を深め、その文化的背景や歴史的背景を理解し、創造的に味わう。			
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容 (ね ら い)		
1	① 歌唱表現へのアプローチ 『魚津工業高校校歌』、 『翼をください』、『我が太陽』、 『カーロミオベン』	・校歌の音楽の特徴や歌詞の意味を理解して歌い暗唱する。 ・既習曲を通して、表現を深める。【主体的に学習に取り組む態度】 ・歌詞の気持ちを読みとり、表現を工夫して歌う。 【思考・判断・表現】 ・部分的に二部合唱を導入して、ハーモニーを生かして歌う喜びを味わう。【知識・技能】 ・曲の特徴を把握し、表現を工夫する。【思考・判断・表現】 ・カンツォーネの特徴に着目し、のびやかな発声や強弱の付け方を工夫して歌唱する。【知識・技能】		
	② 音楽の特徴をとらえよう バレエ音楽『ボレロ』	・曲中に出てくる2つの旋律の違いを理解し、譜例や図を見ながら意欲的に鑑賞する。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】		
2	① ギターで弾き歌いに挑戦しよう	・ギターの基礎的な奏法を正しく理解し、演奏する。 【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・簡単なコードネームを理解し歌いながら演奏する。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・曲の仕組みを理解し、手拍子の音色を工夫して表現する。 ・各パートの役割を理解して正しいリズムでアンサンブルに取り組む。		
	② リズムアンサンブルを楽しもう 『Clapping Quartet No.1』	・曲の仕組みを理解し、手拍子の音色を工夫して表現する。 ・各パートの役割を理解して正しいリズムでアンサンブルに取り組む。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】		
3	① 歌舞伎舞踊の音楽の特徴を感じ取ろう 『京鹿子娘道成寺』	・歌舞伎『京鹿子娘道成寺』を鑑賞し、歌舞伎舞踊と長唄に親しむ。【思考・判断・表現】		
	② 篠笛に親しもう	・篠笛の基本的な奏法を身に付け、簡単な曲が吹けるようになることで篠笛に親しみ、日本の音楽の特徴を感じ取ることができる。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】		
評価	(1)毎時間の授業に取り組む姿勢や態度 (2)課題の提出及び内容 (3)実技発表及び試験の結果 (4)出席状況 上記の(1)～(4)の総合評価で判断する。			

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
1 学年全科選択		芸術・美術 I	2	日本文教出版・高校生の美術 1
学習 目標	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容 (ね ら い)		
1	絵画 「身近なものを描く」 ・鉛筆描写の基礎練習 ・鉛筆デッサン (葉、果物など身近なもの)	・モチーフをしっかりと観察することを意識し、集中して描く。 【主体的に取り組む態度】 ・モチーフの形体や色、質感などの特徴を捉えて描く。 【知識・技能】 ・光の方向を意識して陰影をつけたり、形に添ってハッチングしたりすることによって形態を立体的に表す。 【思考・判断・表現】		
	デザイン・立体 「あかりのデザイン」	・素材の性質や道具の使用法を理解し、意図に応じてそれらの効果を生かして制作する。 【知識・技能】 ・あかりのある空間と人との関係を意識しながら、構想を練る。 【思考・判断・表現】		
2	彫刻 「彫刻の魅力」	・彫刻における道具と表現方法について学習する。 【知識・技能】 ・鑑賞を通じて彫刻についての理解を広める。 ・立体的に物を捉える能力を養う。 【思考・判断・表現】 【主体的に取り組む態度】		
	絵画 「未来予想画」	・様々な作品に関心を持ち、作品の制作や鑑賞をする。 ・絵画から想像を広げ、創造的に構想を練る。 ・絵画の見方や感じ方を深める。 【思考・判断・表現】 【主体的に取り組む態度】		
3	デザイン 「オリジナルパッケージデザイン」	・形や配色、画材などがもたらす効果や、造形的な特徴などを理解し、効果を生かしてデザインする。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・構図や配色を工夫して、主体的に制作活動に取り組む。 【主体的に取り組む態度】		
評価	・自分の思いや考えが表現できるよう構想を練り、形体や色彩を創意工夫することができたか。また、作品鑑賞では、自分の感じた事を文章などで表現することができたか。			

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
1 学年全科選択		芸術・書道Ⅰ	2	光村図書出版・書Ⅰ
学習 目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
学期	学習項目(单元名)	学習内容・評価規準 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		
1	書道で学習すること 書写から書道へ 仮名の書 1. はじめに 仮名の成立と種類 2. 文字の造形を学ぶ 仮名の筆使い 平仮名 変体仮名 蓬萊切 高野切第三種 3. 構成を学ぶ 継色紙 寸松庵色紙 升色紙 4. 創作する 古筆を生かした創作	・書道の三分野を確認し、臨書・鑑賞・創作の学習を通して、自己の創造的な表現に生かすことを理解する。 ・臨書の方法、拓本に関する基礎的な知識を身に付ける。 ・筆使い、字形、文字の大きさと配列など、小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。 【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解する。 ・横の線、縦の線、転折、円運動、結びなど、仮名の基本的な用筆・運筆を理解する。 ・平仮名の字源を知り、正確に字形を捉える。 ・平仮名と変体仮名を比較し、平仮名と同じ字源・違う字源の変体仮名をそれぞれ確認する。 ・「蓬萊切」を鑑賞し、端正な字形や清らかで平明な線がもたらす品格の高い書風を感じ取る。 ・「古筆の主な特徴」を参考に、古筆の用筆や仮名遣いの特徴を理解し、変体仮名の読み方を確認する。 ・「高野切第三種」を鑑賞し、伸びやかな線質や、流れるような連綿がもたらす典型的な仮名の美を感じ取る。 ・伸びやかな用筆・運筆を意識して臨書する。 ・文字群と余白の位置、字間・行間、文字の大きさ、線の太さの変化などの観点で、それぞれの紙面構成の特徴を確かめ、その効果を理解する。 ・創作の手順を理解する。【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		
2	漢字の書 1. はじめに 漢字の変遷とさまざまな書体 2. 文字の造形を学ぶ 【楷書】 あなたは、どの楷書が好き？ 唐の四大家に学ぶ楷書の基本 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 【行書】 蘭亭序 風信帖 3. 創作する 古典を生かした創作 篆刻 刻字 篆刻	・漢字には五つの書体があることを理解する。 ・文字から受ける印象と、それを形成する要素（字形や線質、点画などの特徴）を関連付け、自分の言葉でまとめる。 ・唐の四大家の代表作を知り、4種類の文字を書道史において果たした役割や位置づけに関連付けて理解する。 ・四つの古典を鑑賞し、書風を感じ取る。 ・用筆や字形を意識して臨書する。 ・行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する。 ・筆脈と抑揚を意識して臨書する。 ・空海の人物像や書道史における位置付けについて理解する。 ・創作の手順を理解する。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ・「さまざまな姓名印」「落款と落款印」を鑑賞し、構想や表現に生かす。 ・白文印か朱文印かを選び、印を制作する。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】		
3	漢字仮名交じりの書 1. はじめに 漢字仮名交じりの書とは 心に響く言葉を書く 2. 創作する 好きな言葉を書こう 書写・書道の基本 生活の中の書	・漢字仮名交じりの書の作例を鑑賞し、漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの表現の特徴を確認する。 ・作品を鑑賞し、それぞれの表現のよさを味わうとともに、次時からの創作への見通しをもつ。 ・創作の手順を理解する。 ・古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かし、書体・書風、紙面構成、用具・用材などの観点で作品の構想を練る。 ・試作を重ね、表現を工夫し、落款を入れて作品を仕上げる。 ・作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ・「書写で学習したこと」「書くときの姿勢」「筆の持ち方・構え方」「用具・用材と扱い方」について理解する。 ・「手紙の書き方」「封筒の書き方」「はがきの書き方」など、定型書式の書き方を確認する。 ・「一筆箋の書き方」「送り状の書き方」「履歴書の書き方」「表書きの書き方」など、生活の中の書の書き方を確認する。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】		
適宜				
評価	出席 作品・課題の提出 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】			

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名	
1 学年全科		外国語・英語コミュニケーションⅠ	3	開隆堂・Amity English CommunicationⅠ	
学習 目標	・ 日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解することができる。 ・ 相手に伝える基礎的な能力を養い、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。				
学 期	学習項目(单元名)	学 習 内 容 (ね ら い)			考查 範囲
1	Get Ready ①～④ Lesson1 The Beautiful Scenery	・ 自己や他者の紹介、好きな物や興味ある事の紹介、友人との会話などの身近な表現を通して中学英語表現の復習をする。【知識・技能】 ・ 基本的な疑問文と否定文を理解している。【知識・技能】 ・ お気に入りの場所についてまとめたものを発表する。【思考・判断・表現】 ・ 主語/動詞の役割およびbe動詞と一般動詞の現在形などの働きを理解する。【知識・技能】			中 間 考 査
	Lesson2 My Best Friend Lesson3 Love for Dance	・ 大切にしている人についてまとめて発表する。【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 動詞の過去形の用法を理解する。【知識・技能】 ・ 絵や写真を見て思ったことについてまとめて発表する。【思考・判断・表現】 ・ 進行形と助動詞の用法について理解する。【知識・技能】			期 末 考 査
	Lesson4 Endangered Species Lesson5 The History of Chocolate	・ 人間と動物の関係についての文を理解し、動物に対する人間の責任についての考えを簡潔にまとめて話す。【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 不定詞の用法について理解する。【知識・技能】 ・ チョコレートの歴史について進んで話し合う。【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 動名詞の用法について理解する。【知識・技能】			中 間 考 査
2	Lesson 6 Our School Lesson 7 Serendipity	・ 好きな教科や描かれたイラストについてやり取りしたり、学科やクラブについてまとめて発表する。【思考・判断・表現】 ・ 原級、比較級、最上級の比較表現について理解する。【知識・技能】 ・ 相手の生活や経験などについてやり取りしたり、セレンディピティについてまとめて発表する。【思考・判断・表現】 ・ 現在完了形 (have [has]+過去分詞) の基本的な用法について理解している。【知識・技能】			期 末 考 査
3	Lesson8 Sapeurs Lesson9 Special Makeup Effects Lesson10 Clean Water	・ 服装や平和のシンボルについてやり取りしたり、大切なものについてまとめて発表する。【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 受動態 (be動詞+過去分詞) の基本的な用法について理解する。【知識・技能】 ・ 好きな俳優や映画について自主的に調べて、それらを紹介する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 分詞 (現在分詞/過去分詞) の基本的な用法について理解する。【知識・技能】 ・ 好きな飲み物や平和に寄与した有名人や将来の夢などについてやり取りしたり、水分の摂り方について説明する。【思考・判断・表現】 ・ 関係代名詞 (who/which/that) の基本的な用法について理解したうえで、1文を完成させる。 【知識・技能】			学 年 末 考 査
評価	・ 学習意欲、学習態度、学習に取り組む姿勢 (授業ノート・発問や質疑応答の状態) を評価する。 ・ 定期考查の成績、課題等提出物の内容や提出状況、授業中の態度などで、学習内容の理解度、定着度を評価する。				

シラバス

05富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教 科・科 目	単位数	教 科 書・教 材 名
2 学年全科	家庭・家庭基礎	2	第一学習社・高等学校 家庭基礎 —持続可能な未来をつくる—
学習 目標	・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身に付けるようにする。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 ・様々な人と協働し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。		
学期	学習項目(単元名)	学 習 内 容 (ね ら い)	
1	家庭科の学び方 1 章 これからの生き方と家族 1 節 生涯の生活設計 2 節 家族・家庭と社会とのかわり 6 章 衣生活をつくる 1 節 人の一生と被服 2 節 被服材料と管理 5 章 食生活をつくる 1 節 人の一生と食事 2 節 栄養と食品	学習の進め方と「ホームプロジェクト」「学校家庭クラブ」の意義と実施方法を理解する。 ・ライフステージの特徴を理解し、職業選択の事例を取り上げ、生活設計を考察する。 ・現代の家族・家庭の課題を経済や制度など社会環境の変化と関連させて理解する。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・被服の機能や素材について理解し、被服の手入れ方法を身に付ける。 ・手縫いの基礎を理解し、マスコット制作（家庭クラブ活動）を通して基礎的な技術を習得する。 【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食事の役割を理解し、健康で安全な食生活について考える。 ・必要な栄養素とその働きについて理解する。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】	期末 考 査
2	ホームプロジェクト 5 章 食生活をつくる 3 節 食生活の安全のために 4 節 食生活をデザインする 2 章 次世代をはぐくむ 1 節 子どもの発達 2 節 子どもの生活 3 節 子育て支援と福祉 3 章 充実した生涯へ 4 章 とともに生きる	・夏休みの取り組みを発表する。【思考・判断・表現】 ・食品の取り扱い、衛生を理解し、購入時の選択方法を身に付ける。 ・食事摂取基準を理解し調理の基本技術を習得する。 ・調理実習 3 回【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・乳幼児の発達を理解し、親や保育者との関わり、環境や遊びの重要性を理解する。 ・児童福祉の理念や子どもの福祉について理解する。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・高齢期の身体的・心理的特徴を理解し、誰もが安心して自立的な生活を送ることができる社会について考えを深める。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】	期末 考 査
3	7 章 住生活をつくる 8 章 経済生活をつくる 1 節 私たちの暮らしと経済 2 節 消費者問題を考える	・快適で安全・安心な住まいについて考える。 【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・家計の管理について理解し、正確な知識や情報を収集し、主体的に判断し行動する態度を身に付ける。 ・販売方法や支払い方法の多様化に伴い、契約の重要性を理解し、購入時には適切な判断が必要であることを理解する。【知識・技能】 【思考・判断・表現】	学 年 末 考 査
評価	1 学習に取り組む姿勢【主体的に学習に取り組む態度】 2 授業プリント【思考・判断・表現】や作品【知識・技能】の提出状況と内容の確認 3 各考査の取り組み状況【知識・技能】 【思考・判断・表現】 1～3を総合的に評価する。		

專門科目

<機械科>

対象クラス		教科・科目	単位数	教科書・教材名	
機械科 1 年		工業・工業技術基礎	3	実教出版・工業技術基礎 実教出版・機械実習 1 自主教材等	
学習目標	・ものづくりのための工作機械の操作やいろいろな加工に関する基礎的な知識や技能を習得する。 ・実習を通し、機械技術者として主体的に問題解決に取り組む態度を身に付ける。				
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容 (ね ら い)			考查範囲
1	オリエンテーション 安全教育	・工業技術基礎の学習内容と取り組み方法について ・工業技術基礎及び実習における安全について 【知識・技術】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】			期末
	旋盤加工 I	・基本操作（外周切削、端面切削） ・安全作業について			
2	情報処理	・C言語による簡単なプログラムの作成 ・変数、条件分岐、繰り返し			期末
	測定基礎	・ノギス、マイクロメータの取扱いと測定方法			
3	フライス盤加工 I	・基本操作（正面フライスによる平面加工） ・機械の理解 ・安全作業について 【知識・技術】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】			期末
	手仕上げ実習	・文鎮の製作 ・手仕上げ用道具（弓のこ、ヤスリ）の正しい使い方 ・タップ、ダイスによるねじ立て			
	旋盤加工 II	・段付き丸棒の製作 ・センター穴加工 ・加工工程を考える			期末
	鋳造実習	・生砂による鋳型の成型 ・亜鉛合金の鋳込み			
	フライス盤加工 II	・材料の角出し 【知識・技術】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】			
評価	・定期考查での理解度の確認による評価 ・各実習での学習の態度および課題、作品の完成度による評価 ・レポートの内容と提出状況による評価				

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
機械科1年	工業・工業情報数理	2	実教出版・工業情報数理
学習目標	・社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。 ・情報技術に関する基礎的な知識や技術を習得する。 ・工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身に付ける。		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	第1章 産業社会と情報技術 1 コンピュータの構成と特徴 2 情報化の進展と産業社会 3 情報化社会の権利とモラル 4 情報のセキュリティ管理 第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア 1 ソフトウェアの基礎 3 アプリケーションソフトウェア 第3章 プログラミングの基礎 1 プログラム言語 2 プログラムの作り方 3 流れ図とアルゴリズム	・コンピュータの基本構成や特徴について理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータとネットワークの発達が効率的なコンピュータシステム利用や環境保護に貢献していることを理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】 ・知的財産権、プライバシーの保護等々、権利を守ることやモラルの重要性を理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータウイルス対策や情報の不正利用防止のための基本的な技術を理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】 ・ソフトウェアの分類とオペレーティングシステムの目的および基本操作について理解する。【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・どのようなアプリケーションソフトウェアがあるか理解し、実際に使う。【知識・技術】 【思考・判断・表現】 ・プログラム言語の種類を理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】 ・問題解決の手段としてのアルゴリズムやプログラムの作成の意味を理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・順次・選択・繰返しの三つの基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義を理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】	中間 考 査
	第5章 Cによるプログラミング 1 Cの特徴 2 四則計算のプログラム 3 選択処理 4 繰返し処理 5 配列 第6章 ハードウェア 1 データの表し方 2 論理回路の基礎 3 処理装置の構成と動作 第7章 コンピュータネットワーク 1 コンピュータネットワークの概要 2 コンピュータネットワークの通信技術	・簡単なプログラムによってCの特徴を理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・簡単な計算プログラムによってデータ型やデータの入出力方法などを理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・if文とswitch文、for文とwhile文を理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】 ・コンピュータで用いるデータの表し方について理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2値で演算や制御を行う論理回路の基本について理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】 ・コンピュータの構成、処理装置の動作について理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なコンピュータネットワークについて理解する。【知識・技術】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータネットワークに必要な通信技術や技術的な約束事について理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】	中間 考 査
3	第8章 コンピュータ制御 1 コンピュータ制御の概要 2 制御プログラミング 情報Ⅰ コミュニケーション手段 情報Ⅰ 情報デザイン 第10章 数値処理 1 単位と数値処理	・コンピュータ制御の考え方について理解する。【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータ制御の具体的な方法について理解する。【知識・技術】 ・コミュニケーション手段について科学的に理解する。【知識・技術】 ・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解するとともに、情報デザインの考え方や方法を理解する。【思考・判断・表現】 ・量の名称・量記号・単位(SI)について理解する。【知識・技術】 【思考・判断・表現】	期 末 考 査
	定期考査評価・課題テスト評価、課題レポート評価・提出物(ノート、プリント等)による学習内容の理解度、定着度および学習状況(出席状況・授業態度・参加意識等)などを参考に総合的に評価する。	学 年 末 考 査	

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
機械科 3 年		工業 ・ 課題研究	3	各自の課題による参考図書
学習 目標	・研究テーマを設定し、完成までの役割分担や問題解決などグループで協力して取り組む態度を養う。 ・実習で学習した機械加工の技術を基に、粘り強く創意工夫して設計製作に取り組む態度を養う。			
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容 (ね ら い)		考查 範囲
1	班編成 テーマ設定 研究計画の立案	・各自の希望するテーマを集約し、班を編成する。 担当教員と相談のうえ、研究テーマを決定する。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・全体の構想を練る。 必要な資料などを収集する。 研究の概要を決定し、設計あるいは実験、研究方法を検討する。 ・使用部品の選択や購入部品を決定する。 ・細部の設計と製作図を作成する。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		
2	製作と改良	・各班で設計製図したモデルを基に、部品製作に取り組む。 加工部品を組み立てる。 ・試作と改良を加える。 ・性能検査または実使用による運用検査を行う。 ・完成品の見直しと改良を加える。 【知識・技術】 【思考・判断・表現力】 【主体的に学習に取り組む態度】		
3	課題研究発表	・1年間の成果をまとめる。 ・パワーポイントによる発表原稿を作成する。 ・課題研究発表会で、研究発表を行う。 ・研究内容をレポートにまとめ提出する。 【知識・技術】 【思考・判断・表現力】 【主体的に学習に取り組む態度】		
評価	・研究や製作に取り組む態度や班員との協調性、および課題解決能力などを評価する。 ・研究成果のまとめ方やプレゼンテーション能力を、レポートや発表などで評価する。			

< 電氣科 >

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
電気科 1 年	工業・工業技術基礎	3	実教出版 工業技術基礎 実教出版 電気・電子実習 1
学習目標	工業の電気分野に関する基礎的技術を実験・実習によって体験し、工業技術への興味・関心を高め、工業の社会的な意義や役割を理解するとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を学ぶ。		
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容	考查範囲
1 学期	オリエンテーション①	・ 実験・実習を行うにあたっての心構え ・ 安全講習 ・ 工業数学	期末 考查
	オリエンテーション②	・ 計器・機械器具の取り扱いと配線の仕方 ・ レポートの作成方法、グラフの作成方法	
	第 1 ローテーション	・ 各種工具の取扱いと基本作業（ハンダ付け） ・ 関数電卓の使用法 ・ オームの法則・キルヒホッフの法則 ・ 情報活用の基礎 4 班編制	
2 学期	第 2 ローテーション	・ テスターの製作 1 ・ 電気工事基本作業 1 ・ 抵抗の直並列回路・ホイートストンブリッジ ・ 情報処理 1 4 班編制	期末 考查
	第 3 ローテーション	・ テスターの製作 2 ・ 電気工事基本作業 2 ・ 論理回路 ・ 情報処理 2 4 班編制	
3 学期	第 4 ローテーション	・ 回路計とオシロスコープの使用法 ・ 3Dプリンター制作実習 ・ 電気工事の複線図と組立て ・ マイコン制御実習 I 4 班編制	期末 考查
評価	【知識・技術】 学習状況（予習、取組状況、理解度など）を評価する。 【思考・判断・表現】 読み手のことを考え、授業で学んだ内容を的確に表現したレポートを書くことができる。 考察課題について、学んだ知識や数式など根拠を示しながら説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 レポートを期限通りに提出できる。 適切な準備を行い、積極的に実習課題に取り組むことができる。 活動を振り返り、反省や改善点をまとめ、問題解決に取り組むことができる。 以上を参考に総合的に評価する。		

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
電気科1年	工業・工業情報数理	2	実教出版・工業情報数理
学習目標	・社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。 ・情報技術に関する基礎的な知識や技術を習得する。 ・工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身に付ける。		
学期	学習項目(単元名)	学習内容(ねらい)	考查範囲
1	第1章 産業社会と情報技術 1 コンピュータの構成と特徴 2 情報化の進展と産業社会 3 情報化社会の権利とモラル 4 情報のセキュリティ管理	・コンピュータの基本構成や特徴について理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータとネットワークの発達が効率的なコンピュータシステム利用や環境保護に貢献していることを理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・知的財産権、プライバシーの保護等々、権利を守ることやモラルの重要性を理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータウイルス対策や情報の不正利用防止のための基本的な技術を理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】	中間 考查
	第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア 1 ソフトウェアの基礎 3 アプリケーションソフトウェア 第3章 プログラミングの基礎 1 プログラム言語 2 プログラムの作り方 3 流れ図とアルゴリズム	・ソフトウェアの分類とオペレーティングシステムの目的および基本操作について理解する。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ・どのようなアプリケーションソフトウェアがあるか理解し、実際に使えるようになる。【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・プログラム言語の種類を理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・問題解決の手段としてのアルゴリズムやプログラムの作成の意味を理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】 ・順次・選択・繰返ししの三つの基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義を理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】	期末 考查
2	第5章 Cによるプログラミング 1 Cの特徴 2 四則計算のプログラム 3 選択処理 4 繰返し処理 5 配列	・簡単なプログラムによってCの特徴を理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】 ・簡単な計算プログラムによってデータ型やデータの入出力方法などを理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ・if文とswitch文、for文とwhile文を理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・配列の宣言や使用方法を理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】	中間 考查
	第6章 ハードウェア 1 データの表し方 2 論理回路の基礎 3 処理装置の構成と動作 第7章 コンピュータネットワーク 1 コンピュータネットワークの概要 2 コンピュータネットワークの通信技術	・コンピュータで用いるデータの表し方について理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】 ・2値で演算や制御を行う論理回路の基本について理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・コンピュータの構成、処理装置の動作について理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なコンピュータネットワークについて理解する。【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータネットワークに必要な通信技術や技術的な約束事について理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】	期末 考查
3	第8章 コンピュータ制御 1 コンピュータ制御の概要 2 制御プログラミング 情報I 情報デザイン 第10章 数理処理 1 単位と数理処理	・コンピュータ制御の考え方について理解する。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータ制御の具体的な方法について理解する。【知識・技術】 ・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解するとともに、情報デザインの考え方や方法を理解する。【思考・判断・表現】 ・量の名称・量記号・単位(SI)について理解する。【知識・技術】【思考・判断・表現】	学 年 末 考 査
評価	定期考査評価・課題テスト評価、提出物(ノート、プリント等)による学習内容の理解度、定着度及び学習状況(出席状況・授業態度・参加意識等)などを参考に総合的に評価する。		

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
電気科 3 年		工業・課題研究	3	配布プリント、自作教材など
学習 目標	電気・電子全般にわたって基本的な知識の習得と、グループでの研究活動を通し、学習活動に対して主体的に取り組む態度を養う。			
学期	学習項目(単元名)	学 習 内 容		
1 学期	オリエンテーション	・オリエンテーション		
	製作に必要な技術の習得	・グループに分かれ、マイコンなどの必要な知識・技能を身に付ける。 【知識・技術】		
	研究グループの決定	・班編制を行い、各班の興味のあるテーマに基づいて研究テーマを決定する。 【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】		
	アイディアの導出 情報資料の収集	・グループごとに情報や資料を集め、アイディアを出し、試作や実験を行う。 【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】		
	試作品の作成	・グループごとにアイディアを活かした試作品を作成する。 【知識・技術】【思考・判断・表現】		
	中間発表会	・1学期末に、中間発表会を行い、製作物や研究について報告を行う。 【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】		
2 学期	製作開始	・設計、部品調達、および製作において各班員の役割分担を決め、製作にとりかかる。		
	作品の調整・改良	・製作した作品について、試走を行い、改良を加える。 【知識・技術】【思考・判断・表現】		
	作品の完成	・2学期末に製作物を完成させる。		
	後期発表会	・製作物や研究成果について、後期発表会を行う。ここまでの成果について、自己評価や相互評価を行う。 【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】		
3 学期	最終発表会 報告書提出	・1月下旬に他学年の生徒を見学に加えた後期発表会を行い、相互評価、完成作品、研究成果をプレゼンテーションする。相互評価や自己評価を行う。 【知識・技術】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】		
		・最終報告書を下書き、清書し、提出する。 【知識・技術】【主体的に学習に取り組む態度】		
評価	・研究や製作に取り組む態度や班員との協調性、及び課題解決能力などを評価する。 ・研究成果のまとめ方やプレゼンテーション能力を、レポートや発表などで評価する。			

< 情報環境科 >

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
情報環境科 1 年		工業 ・ 工業技術基礎	3	実教出版 ・ 工業技術基礎
学習 目標	工業に関する基礎的技術を実験・実習によって体験し、各分野における技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解するとともに、工業に関する広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を学びます。			
学期	学習項目(単元名)	学 習 内 容 (ね ら い)		考查 範囲
前半	・ 旋盤 ・ 計測 ・ 石けん製造 ・ 定性分析 ・ 総合実習	・ 旋盤の基本操作を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】 ・ 端面切削、側面切削を体験する。 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】 ・ ノギス、マイクロメータなどの測定器具の構造や使い方を学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】 ・ 廃油から石けんを製造する。 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】 ・ 化学的な性質から物質を特定する定性分析を体験する。 【主体的に学習に取り組む態度】 【思考・判断・表現】 【知識・技術】 ・ ねじ切り加工（タップ）を体験する。 【知識・技術】 ・ バフ研磨加工を体験する。 【知識・技術】 ・ メッキ加工を体験する。 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】		
後半	<電子機械コース> ・ 旋盤 ・ フライス盤 ・ C A D	・ 段付き丸棒を製作する。 【知識・技術】 ・ テーパー加工をする。 【知識・技術】 ・ フライス盤の基本操作を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】 ・ 角出し作業手順を身に付ける。 【知識・技術】 ・ C A Dの基本操作を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】 ・ 簡単な図面を描いて出力する。 【思考・判断・表現】 【知識・技術】		
	<化学工業コース> ・ ガラス細工 ・ 固体試薬の計量・調製 ・ 液体試薬の計量・調製 ・ 吸光光度分析 ・ 硫酸銅の合成 ・ 水の蒸留、硫酸銅の再結晶 ・ 水質検査、プレゼンテーション	・ ガラス細工を行い、ガラス棒とスポイトを作る。【知識・技術】 ・ 固体試薬の計量の仕方とその水溶液の作り方を学び、濃度を計算する。 【知識・技術】 ・ 液体試薬の計量の仕方と薄め方を学び、濃度を計算する。 【知識・技術】 ・ 化学分析について学び、分光光度計を用いて吸光光度分析を行う。 【知識・技術】 ・ 物質の合成について学び、硫酸銅を合成する。【知識・技術】 ・ 不純物の入った水を蒸留し、純粋な水を取り出し、不純物を取り除く方法を学ぶ。【思考・判断・表現】 【知識・技術】 ・ 水に含まれる成分を探し出す。【思考・判断・表現】 ・ プレゼンテーションソフトの基礎を学ぶ。 【思考・判断・表現】 【知識・技術】		
評価	・ 課題提出状況、授業態度などで学習内容の到達度や理解度を評価する。 ・ 前半は全員 5 項目実施、後半は各コースごとに実施する。 ・ レポートの提出状況と内容、作業態度等を総合的に評価する。			

対象クラス	教科・科目	単位数	教科書・教材名
情報環境科 1 年	工業・工業情報数理	2	実教出版・工業情報数理
学習目標	社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解するとともに、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、情報及び情報手段を活用する能力と態度を学ぶ。		
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容 (ね ら い)	考查範囲
1	第1章 産業社会と情報技術	・情報と生活、コンピュータの特徴に関心をもち、どのように利用されているか。 ・コンピュータの特徴、構成、発達 ・情報化の進展と産業社会 ・情報化社会の進展とモラル ・情報セキュリティ管理 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】	中間
	第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア	アプリケーションソフトウェアに共通する基本的な操作に興味をもち、使いこなす技能を習得する。 ・コンピュータの基本的な操作 ・ソフトウェアの基礎 ・アプリケーションソフトウェア 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】	期末
2	第3章 プログラミングの基礎	基本的なプログラムを作成し、実行する技能を習得する。 ・プログラムの基礎、作り方 ・流れ図とアルゴリズム 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】	中間
	第5章 Cによるプログラミング	Cはコンパイラ言語であり、関数などCの特徴に関心がある。 ・Cの特徴 ・四則計算のプログラム ・分岐処理、繰り返し処理 ・配列・関数 【主体的に学習に取り組む態度】 【思考・判断・表現】 【知識・技術】	期末
3	第6章 ハードウェア	・データの表し方 ・論理回路の基礎・処理装置の構成と動作 【主体的に学習に取り組む態度】 【思考・判断・表現】 【知識・技術】	
	第7章 コンピュータネットワーク	コンピュータネットワークで使用するプロトコルに関心があり、簡単な接続をする。 ・コンピュータネットワークの概要 ・コンピュータネットワークの構成 ・コンピュータネットワークの通信技術 ・コンピュータ制御の基礎 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識・技術】	
	第8章 コンピュータ制御	・コミュニケーション手段について科学的に理解する。 【知識・技術】	期末
	情報Ⅰ コミュニケーション手段 情報Ⅰ 情報デザイン	・情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解するとともに、情報デザインの考え方や方法を理解する。 【思考・判断・表現】	
	第10章 数理処理	・量の名称・量記号・単位(SI)について理解する。 【知識・技術】 【思考・判断・表現】	
評価	定期考查とノート、提出物、授業態度等を総合的に評価する。		

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
情報環境科 3 年 電子機械コース		工業 ・ 課題研究	3	自作教材
学習目標	・ 3 年間に学習した内容を基礎として、各々のテーマについて研究 ・ 製作を行う。 ・ 原稿やプレゼンを作成し、班ごとに研究を行ったテーマについて発表する。			
学期	学習項目(单元名)	学 習 内 容 (ね ら い)		考查 範囲
1	題材学習	・ 過去の課題テーマについて学習し、今年度のテーマ選定について検討する。 ・ 実習を通して学習した、2 D C A D や 3 D C A D の操作方法についての復習を行う。 ・ 実習で学習した、工作機械の使用法を復習し、課題テーマへの利用方法について検討する。 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識 ・ 技術】		
2	課題研究	・ グループ（5 ～ 6 名）に分かれて、3 年間に学習した内容を基礎としてテーマを決め、そのテーマについてそれぞれ研究 ・ 製作を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識 ・ 技術】 【思考 ・ 判断 ・ 表現】		
	中間発表会	・ ポスターセッション形式で、現状の研究内容について発表する。 【思考 ・ 判断 ・ 表現】 【知識 ・ 技術】		
3	発表会	・ 発表に向け、発表原稿やプレゼンの作成、発表練習を行う。 ・ 班ごとに研究を行ったテーマについて発表する。 【思考 ・ 判断 ・ 表現】 【知識 ・ 技術】		
評価	工作機械、2 ・ 3 D C A D の操作能力、実習報告書の出来と提出状況、授業態度などで学習内容の到達度や理解度を評価する。			

シラバス

05 富山県立魚津工業高等学校

対象クラス		教 科 ・ 科 目	単位数	教 科 書 ・ 教 材 名
情報環境科 3 年 化学工業コース		工業 ・ 課題研究	3	自作教材等 実教出版 ・ 工業化学実習 1
学 習 目 標	・ 3 年間に学習した内容を基礎として、各々のテーマについて研究 ・ 製作を行う。 ・ 原稿やプレゼンを作成し、班ごとに研究を行ったテーマについて発表する。			
学 期	学習項目(単元名)	学 習 内 容 (ね ら い)		考查 範囲
1	題材学習	・ 過去の課題テーマについて学習し、今年度のテーマ選定について検討する。 ・ 有機合成実験を通して学習した、化学薬品や化学実験器具の使用方法 ・ 化学反応の機構についての復習を行う。 ・ 機器分析で学習した、機器の使用法を復習し、課題テーマへの利用方法について検討する。 ・ 定性分析や定量分析などの分析化学で学習した内容を、各自のテーマに活用できるよう復習する。 【主体的に学習に取り組む態度】 【知識 ・ 技術】		期 末 考 査
2	課題研究	・ グループ（3 ～ 4 名）に分かれて、3 年間に学習した内容を基礎としてテーマを決め、そのテーマについてそれぞれ研究 ・ 製作を行う。 【知識 ・ 技術】 【思考 ・ 判断 ・ 表現】 【主体的に学習に取り組む態度】		
	中間発表	・ ポスターセッション形式で、現状の研究内容について発表する。 【思考 ・ 判断 ・ 表現】 【知識 ・ 技術】		
3	発表	・ 発表に向け、発表原稿やプレゼンの作成、発表練習を行う。 ・ 班ごとに研究を行ったテーマについて発表する。 【思考 ・ 判断 ・ 表現】 【知識 ・ 技術】		学 年 末 考 査
評 価	実験操作の能力、定期考查の成績、実習報告書の出来と提出状況、授業態度などで学習内容の到達度や理解度を評価する。			